

# CONTENTS

注意

下線部には1語または2語以上の語句が入ります。  
並べかえ問題は、文頭に来る語も小文字になっています。

Lesson 1	Part 1	現在形 (be 動詞) ……………	4
	Part 2	現在形 (一般動詞) ……………	8
Lesson 2	Part 1	過去形 (be 動詞、一般動詞) ……………	12
	Part 2	現在進行形、過去進行形 ……………	16
Lesson 3	Part 1	未来表現 (will, be going to ~など) ……………	20
	Part 2	基本時制 (現在形、過去形、未来表現) のまとめ ……………	24
Lesson 4	Part 1	現在完了形① (完了／経験) ……………	28
	Part 2	現在完了形② (継続)、現在完了進行形 ……………	32
Lesson 5	Part 1	助動詞 (can / may / must / should) ……………	36
	Part 2	受動態 (基本の形／疑問詞疑問文／助動詞を使う場合) ……………	40

Lesson 6	Part 1	不定詞① (名詞的用法、形容詞的用法) ……………	44
	Part 2	不定詞② (副詞的用法など) ……………	48
Lesson 7	Part 1	動名詞 ……………	52
	Part 2	分詞による後置修飾、分詞構文 ……………	56
Lesson 8	Part 1	比較① (比較級) ……………	60
	Part 2	比較② (最上級、同等比較) ……………	64
Lesson 9	Part 1	関係代名詞① who, which, that (主格・目的格) ……………	68
	Part 2	関係代名詞② (目的格の省略、whose, what) ……………	72
Lesson 10	Part 1	関係副詞 ……………	76
	Part 2	仮定法 ……………	80

## ◆ 文法を理解しよう! ◆

## 1. can : 可能 / 可能性

**can** は「～することができる」という**可能**の意味を表します。**(be able to+動詞の原形)** もほぼ同じ意味になります。「～になりうる」という**可能性**の意味になることもあります。can の過去形は **could** です。

手助けする	I		help you with that.
手助けができる	I	<b>can</b>	help you with that.
手助けができない	I	<b>cannot (= can't)</b>	help you with that.

- He **is able to** ride a bike. (彼は自転車に乗ることができます。)
- It **can be** very cold at night. (夜にはとても寒くなる可能性があります。)

## 2. may : 許可 / 推量

**may** は「～してもよい」という**許可**の意味を表します。「～かもしれない」という**推量**の意味になることもあります。may の過去形は **might** です。

出発する	You		leave now.
出発してもよい	You	<b>may</b>	leave now

- It **may** rain this afternoon. (きょうの午後は雨が降るかもしれません。)

## 3. must : 義務、指示 / 推量

**must** は「～しなければいけない、～する必要がある」という**義務**や**指示**の意味を表します。**have to** もほぼ同じように使われます。

- We **must [have to]** stop at a red light. (赤信号では止まらなければなりません。)
- この意味の否定は、**must not** 「～してはならない」、**don't have to** 「～する必要はない」で表します。

また、「～に違いない」という**推量**の意味になることもあります。この意味の否定は、**can't [cannot]** 「～のはずがない」で表します。

- He **must be** tired after school. (彼は放課後は疲れているにちがいません。)
- His story **cannot be** true. (彼の話は本当のはずがない。)

## 4. should : 助言、指示

**should** は「～したほうがよい、～すべきだ」の**助言**や**指示**の意味を表します。

- You **should** say sorry to her. (あなたは彼女に謝るべきです。)

## ① ( )内から適切な語句を選び、英文を完成させてみよう。

- ヒロコはハングルをよく読むことができる。  
Hiroko ( can / must ) read Hangul well.
- 「あなたのところに1週間ほど泊まってもいいですか。」「いいですよ。」  
“( May / Must ) I stay with you for about a week?” “Sure.”
- 劇場に急がなくてはいけない。劇はもうすぐ始まる。  
We ( can / must ) hurry to the theater. The play will start soon.
- 式典では学校の制服を着たほうがよい。  
You ( can / should ) wear a school uniform at the ceremony.
- とても寒い。今夜は雪が降るかもしれない。  
It is very cold. It ( may / must ) snow tonight.
- ちょっと話してもいいですか。  
( Can / Should ) I talk to you for a moment?
- 授業に遅れてはいけません。  
You ( won't / must not ) be late for class.

## ② [ ]内の語句を並べかえて、英文を完成させてみよう。

- 試験の始まる5分前に着席していなければならない。  
You [ be seated / five minutes / must ] before the exam begins.  
\_\_\_\_\_
- 市の図書館では誰でもインターネットが使える。  
In the city library, [ can / the internet / anybody / use ].  
\_\_\_\_\_
- パーティーでは正装しなくてはならない。  
[ you / dress / to / have ] formally for the party.  
\_\_\_\_\_
- 私の夢は実現しないかもしれない。  
My dream [ may / true / not / come ].  
\_\_\_\_\_
- 私たちは違う文化や伝統を尊重したほうがよい。  
We [ different / should / cultures / respect ] and traditions.  
\_\_\_\_\_

③ ( )内に適切な語を入れて、英文を完成させてみよう。

- (1) 君は他の人の意見を聞いたほうがよい。  
You ( ) ( ) to other people's opinions.
- (2) 約束なしに彼を訪ねてはいけない。  
You ( ) ( ) ( ) him without an appointment.
- (3) あの小さなイヌを見て。迷子のイヌかもしれない。  
Look at that little dog. It ( ) be a stray dog.
- (4) 今あなたの自転車を使ってもいいですか。  
( ) I ( ) your bicycle now?
- (5) とうとう山の頂上に到達できた。  
We were ( ) ( ) reach the top of the mountain at last.
- (6) 夜更かしをすべきではない。  
You ( ) ( ) stay up late.
- (7) 彼の話は本当に違いない。  
His story ( ) ( ) true.
- (8) 私たちは、毎日その花に水をあげる必要はない。  
We ( ) ( ) to water the flowers every day.

④ \_\_\_\_\_に適切な語句を入れて、英文を完成させてみよう。

- (1) その難しい数学の問題を解くことができた少年たちもいた。 \*「~を解く」 solve  
Some boys were \_\_\_\_\_ the difficult math problem.  
\_\_\_\_\_
- (2) 「私たちは学校まで毎日歩いて行かなくてはいけないの?」「ええ、もちろん。」  
“\_\_\_\_\_ to school every day?” “Yes, of course.”  
\_\_\_\_\_
- (3) 部屋にスマートフォンを持ち込んでもよいが、電源を切らなくてはならない。  
You \_\_\_\_\_ your smartphone into the room, but you \_\_\_\_\_ it off.  
\_\_\_\_\_
- (4) 買い物に行く必要はない。食料は十分ある。  
We \_\_\_\_\_ shopping. We have enough food.  
\_\_\_\_\_

(5) フライトを変更できません。もう遅すぎます。

You \_\_\_\_\_ your flight. It's too late.  
\_\_\_\_\_

⑤ [ ]内の語句を使って、英文を完成させてみよう。

- (1) 彼は今はパリにいるに違いない。  
[ be in Paris ]  
\_\_\_\_\_
- (2) ここに駐車してはいけない。  
[ you, park ]  
\_\_\_\_\_
- (3) 彼女は、3歳のときには、泳ぐことができた。  
[ when she was three ]  
\_\_\_\_\_
- (4) スティーブはその質問に答えることができなかった。  
[ Steve, was, answer ]  
\_\_\_\_\_
- (5) あなたは長時間歩いて疲れているに違いない。  
[ after a long walk ]  
\_\_\_\_\_
- (6) その本屋は今日休みかもしれない。  
[ the bookstore, might, closed ]  
\_\_\_\_\_
- (7) もし具合が悪ければ、医者に行ったほうがよい。  
[ feel ill, go to the doctor ]  
\_\_\_\_\_
- (8) 自然災害はいつでも起こりうる。  
[ natural disasters, can, moment ]  
\_\_\_\_\_

◆ 文法を理解しよう! ◆

### 1. 基本の形

主語が「～する」という形を能動態、主語が「～される」という形を受動態といいます。

「Aが～される」という意味を表すときには、**〈A+be 動詞+過去分詞〉**を使います。

• A friend of mine **Painted** this picture. 【能動態】



• This picture **was painted** by a friend of mine. 【受動態】

「Bによって(～される)」を表すときには、**〈by+B〉**で表します。

受動態の否定文は、**〈be 動詞+not+過去分詞〉**となります。

• This program **is not watched** by many people.  
(この番組は多くの人に見られていません。)

受動態の疑問文は、**〈be 動詞+A+過去分詞～?〉**となります。

• **Is the car made** in Japan? (その車は日本製ですか。)

### 2. 疑問詞疑問文

疑問詞疑問文の場合には、**〈疑問詞+be 動詞+A+過去分詞～?〉**となります。

• **When did they build** the church?  
(彼らはいつその教会を建てたのですか。)



• **When was the church built** (by them)?  
(その教会はいつ建てられたのですか。)

### 3. 助動詞を使う場合

must や will のような助動詞と共に受動態が使われるときには、**〈助動詞+be 動詞+過去分詞〉**となります。

• The room **must be cleaned** every day.  
(部屋は毎日きれいにしなければいけません。)

① ( )内から適切な語句を選び、英文を完成させてみよう。

- (1) 町は嵐に見舞われた。  
The town was ( hit / hitting ) by a storm.
- (2) 台風のため列車は遅れるだろう。  
The train will be ( delayed / delay ) because of the typhoon.
- (3) その古代の墓の下から何が発見されましたか。  
What ( did discover / was discovered ) under the ancient tomb?
- (4) ペットボトルは多くの国でリサイクルされている。  
Plastic bottles ( are recycled / recycle ) in many countries.
- (5) そのテーブルはすぐに片付けられるべきだ。  
The table should ( is cleared / be cleared ) immediately.
- (6) これらの庭石は、中国から運ばれました。  
These garden rocks ( were carried / are carrying ) from China.
- (7) メープルシロップはどこで生産されていますか。  
Where is maple syrup ( produce / produced )?

② [ ]内の語句を並べかえて、英文を完成させてみよう。

- (1) いつきみの新しい自転車が盗まれたの?  
[ was / when / stolen / your new bicycle ]?  
\_\_\_\_\_
- (2) ヴァン・ゴッホは浮世絵から大いに影響を受けた。  
Van Gogh [ by / influenced / Ukiyoe prints / was ] greatly.  
\_\_\_\_\_
- (3) あなたの部屋から海は見られますか。  
[ be / the ocean / seen / can ] from your room?  
\_\_\_\_\_
- (4) 私は沖縄で生まれ育った。  
I [ and / brought up / born / was ] in Okinawa.  
\_\_\_\_\_
- (5) この機械はそのような目的で使用してはならない。  
This machine [ used / be / must / for / not ] such a purpose.  
\_\_\_\_\_

③ ( )内に適切な語を入れて、英文を完成させてみよう。

- (1) ボランティアによって砂漠に何千本もの木が植えられた。  
Thousands of trees ( ) ( ) in the desert ( )  
volunteers.
- (2) その宿題は今度の月曜日までに終えなければならない。  
The homework ( ) ( ) ( ) by next Monday.
- (3) その雑誌は若者の間で広く読まれている。  
The magazine ( ) widely ( ) among young people.
- (4) 私たちはパーティーに招待されないうだろう。  
We won't ( ) ( ) to the party.
- (5) これらのコンピューターは障害のある人たちのために作られたのですか。  
( ) these computers ( ) for disabled people?
- (6) その曲は有名なピアニストによって書かれた。  
The music ( ) ( ) ( ) a famous pianist.
- (7) どこにこの鍵が置いてあったのですか。  
Where ( ) this key ( )?

④ \_\_\_\_\_に適切な語句を入れて、英文を完成してみよう。

- (1) オリンピックは4年ごとに開かれる。  
The Olympic Games \_\_\_\_\_ every four years.  
\_\_\_\_\_
- (2) この歌は世界中の多くの人々に愛されている。  
The song \_\_\_\_\_ many people around the world.  
\_\_\_\_\_
- (3) 悪天候にもかかわらず、体育祭は中止されなかった。 \*「~を中止する」cancel  
The athletic meet \_\_\_\_\_ in spite of the bad weather.  
\_\_\_\_\_
- (4) このテレビは壊れているが、簡単に修理できる。  
This TV is broken, but it \_\_\_\_\_ easily.  
\_\_\_\_\_
- (5) 丘の上のあの塔はいつ建てられましたか。  
When \_\_\_\_\_ on the hill \_\_\_\_\_ ?  
\_\_\_\_\_

⑤ [ ]内の語句を使って、受動態の英文を完成させてみよう。[ ]内の語句は、必要に応じて適切な形に変えること。

- (1) 加藤先生は、多くの生徒に尊敬されている。  
[ Mr. Kato, respect, many students ]  
\_\_\_\_\_
- (2) オーストリアでは、ドイツ語が話されている。  
[ German, in Austria ]  
\_\_\_\_\_
- (3) ドラえもんはみんなに知られている。  
[ Doraemon, everyone ]  
\_\_\_\_\_
- (4) イチゴは冷蔵庫で保存したほうがよい。  
[ keep, strawberries, the fridge ]  
\_\_\_\_\_
- (5) このレポートは明日の朝までに終えなければならない。  
[ must, this report ]  
\_\_\_\_\_
- (6) これらの棚はどこで作られましたか。  
[ these shelves, make ]  
\_\_\_\_\_
- (7) この薬はいつ飲まなければいけないのですか。  
[ this medicine, take ]  
\_\_\_\_\_
- (8) 校則を破るべきではありません。  
[ the school rules, break ]  
\_\_\_\_\_
- (9) その家の壁はまだペンキが塗られていません。  
[ walls of the house, paint, yet ]  
\_\_\_\_\_

## Lesson 5 Part 1

(Workbook pp.30-33)

1

- (1) Hiroko (can) read Hangul well.
- (2) "(May) I stay with you for about a week?" "Sure."
- (3) We (must) hurry to the theater. The play will start soon.
- (4) You (should) wear a school uniform at the ceremony.
- (5) It is very cold. It (may) snow tonight.
- (6) (Can) I talk to you for a moment?
- (7) You (must not) be late for class.

## 【解説】

- (1) 「～ができる」は can で表す。
- (2) 「～してもいいですか」と相手に許可を求めるときは May [Can] I ~? を使う。 Might [Could] I ~? にすると、より丁寧な表現。 <stay with+人> は「～(人)の家に泊まる」の意味。
- (3) 「～しなくてははいけない」は must で表す。 hurry は動詞で「急ぐ」の意味。
- (4) 「～したほうがよい、～すべきだ」は should で表す。
- (5) 「～かもしれない」は may で表す。可能性が半々くらいのときに使われる。
- (6) 「～してもいいですか」は Can I ~? で表す。
- (7) 「～してはいけない」は must not で表す。

2

- (1) You [must be seated five minutes] before the exam begins.
- (2) In the city library, [anybody can use the internet].
- (3) [You have to dress] formally for the party.
- (4) My dream [may not come true].
- (5) We [should respect different cultures] and traditions.

## 【解説】

- (1) must 「～しなければならない」を動詞句の be seated 「着席する」の前に置く。
- (2) can 「～することができる」を動詞句の use the internet 「インターネットを使う」の前に置く。
- (3) have to ~ 「(状況から)～しなければならない」を動詞の dress 「～を着る」の前に置く。

「正装する」は dress formally で表す。

- (4) may の否定の may not 「～しないかもしれない」を動詞句の come true 「～(夢)が実現する」の前に置く。
- (5) should 「～したほうがよい」を動詞の respect 「～を尊重する」の前に置く。「違う文化や伝統」は different cultures and traditions で表す。

3

- (1) You (should) (listen) to other people's opinions.
- (2) You (must) (not) (visit) him without an appointment.
- (3) Look at that little dog. It (may [might]) be a stray dog.
- (4) (Can [May]) I (use) your bicycle now?
- (5) We were (able) (to) reach the top of the mountain at last.
- (6) You (should) (not) stay up late.
- (7) His story (must) (be) true.
- (8) We (don't) (have) to water the flowers every day.

## 【解説】

- (1) 「～したほうがよい、～すべきだ」は should で表す。「～(意見)を聞く」は「～に耳を傾ける」という意味合いで、listen to ~ で表す。hear は「(単に)～が聞こえる」というニュアンス。
- (2) 「～してはいけない」は must not、「～を訪ねる」は visit で表す。
- (3) 「～かもしれない」は may [might] で表す。
- (4) 「～してもいいですか」と相手に許可を求めるときは Can [May] I ~? を使う。
- (5) 「～することができる」は can のほか be able to ~ で表すことができる。「～できた」と過去のことを表すには、was [were] able to ~ と、be 動詞を過去形にする。
- (6) 「～すべきではない」は should not で表す。
- (7) 「～に違いない」は must、「本当だ」は be true で表す。
- (8) 「～する必要はない」は don't have to ~ で表す。

4

- (1) Some boys were able to solve the difficult math problem.
- (2) "Must we [Do we have to] walk to school every day?" "Yes, of course."
- (3) You may [can] take your smartphone into the room, but you must turn it off.
- (4) We don't have to go shopping. We have enough food.
- (5) You can't [cannot] change your flight. It's too late.

## 【解説】

- (1) 「～することができた」は、could のほか was [were] able to ~ で表すことができる。
- (2) 「～しなくてははいけない」は、must [have to ~] で表す。助動詞を含む疑問文は〈助動詞 + 主語 + 動詞~?〉の語順になるが、have to ~ の疑問文は文頭に do を置く。
- (3) 「～してよい」は can [may] で表す。can のほうがやわらかく、may は強い言い方に聞こえる。
- (4) 「～する必要がない」は don't have to ~ で表す。
- (5) 「～できない」は can't [cannot] で表す。

5

- (1) He must be in Paris now.
- (2) You must not park here.
- (3) She could [was able to] swim when she was three.
- (4) Steve wasn't [was not] able to answer the question.
- (5) You must be tired after a long walk.
- (6) The bookstore might be closed today.
- (7) If you feel ill, you should go to the doctor.
- (8) Natural disasters can happen at any moment.

## 【解説】

- (1) 「～に違いない」は must で表す。
- (2) 「～してはいけない」は must not で表す。
- (3) 「～することができた」は could [be able to ~] で表す。「彼女が3歳のとき(に)」は when she was three.
- (4) was を使って「～できなかった」を表すには、wasn't [was not] able to ~ を使う。
- (5) 「～に違いない」は must、「疲れている」は

be tired で表す。

- (6) 「～(本屋)が休み」は be closed で表す。助動詞のあとの動詞は原形なので、「休みかもしれない」は、might のあとに be closed をそのまま置いて might be closed とする。
- (7) 「～したほうがよい」は should で表す。「もし～なら」は if を用いる。「具合が悪い」は feel ill、「医者に行く」は go to the doctor で表す。
- (8) 「起こる」は happen で表す。助動詞のあとの動詞は原形なので、「起こりうる」は、can happen とする。ここでの can は「～でありうる」という可能性を表している。

## Lesson 5 Part 2

(Workbook pp.34-36)

## 1

- (1) The town was (hit) by a storm.
- (2) The train will be (delayed) because of the typhoon.
- (3) What (was discovered) under the ancient tomb?
- (4) Plastic bottles (are recycled) in many countries.
- (5) The table should (be cleared) immediately.
- (6) These garden rocks (were carried) from China.
- (7) Where is maple syrup (produced)?

## 【解説】

- (1) 「(嵐に)見舞われる」は〈be 動詞+hit の過去分詞〉で表す。hit の過去分詞は hit であることに注意。
- (2) 「遅れる」は〈be 動詞+delay の過去分詞〉で表す。delay の過去分詞は delayed。
- (3) 「発見される」は〈be 動詞+discover の過去分詞〉で表す。「発見された」は be 動詞を過去形にして、was discovered とする。受動態で主語が「何をされたか」をたずねる疑問文は〈What+be 動詞+過去分詞〜?〉である。
- (4) 「リサイクルされている」は〈be 動詞+recycle の過去分詞〉で表す。e で終わる動詞の過去分詞形に注意。
- (5) 「片づけられる」は〈be 動詞+clear の過去分詞〉で表す。be 動詞は、助動詞 should のあとなので、原形の be をそのまま置く。
- (6) 「運ばれる」は〈be 動詞+carry の過去分詞〉で表す。carry の過去分詞は carried と、y を i に変えて ed をつける。
- (7) 疑問詞疑問文の場合には、受動態は〈疑問詞+主語+過去分詞〜?〉で表す。

## 2

- (1) [When was your new bicycle stolen]?
- (2) Van Gogh [was influenced by Ukiyoe prints] greatly.
- (3) [Can the ocean be seen] from your room?
- (4) I [was born and brought up] in Okinawa.

- (5) This machine [must not be used for] such a purpose.

## 【解説】

- (1) 受動態を使って「いつ?」とたずねる疑問文は、〈When+be 動詞+主語+過去分詞〜?〉の語順。「盗まれた」は was stolen で表す。steal の過去分詞形に注意。
- (2) 「影響を受けた」は was influenced で表す。「〜から(〜によって)」は by 〜で表す。
- (3) 助動詞を伴う受動態の肯定文は〈主語+助動詞+be 動詞+過去分詞〉の語順。疑問文は助動詞と主語を逆にする。
- (4) 「生まれた」は was born、「育った」は was brought up で表す。一つの be 動詞に対して過去分詞が二つ用いられた受動態の文。
- (5) 助動詞を伴う受動態は〈主語+助動詞+be 動詞+過去分詞〉の語順。「〜しては[されては]ならない」を表すには、must not を用いる。

## 3

- (1) Thousands of trees (were) (planted) in the desert (by) volunteers.
- (2) The homework (must) (be) (finished) by next Monday.
- (3) The magazine (is) widely (read) among young people.
- (4) We won't (be) (invited) to the party.
- (5) (Were) these computers (made) for disabled people?
- (6) The music (was) (written) (by) a famous pianist.
- (7) Where (was) this key (put [placed])?

## 【解説】

- (1) 「植えられた」は was planted で表す。主語が複数形なので、be 動詞は were とする。「〜によって」は by 〜で表す。
- (2) 「〜されなければならない」は、〈must+be 動詞+過去分詞〉で表す。
- (3) 「読まれている」は、is read で表す。過去分詞 read の発音に注意。
- (4) 「〜されないだろう」は、〈will+be 動詞+過去分詞〉の will を否定の形にして、〈won't+be 動詞+過去分詞〉で表す。「招待される」は be invited。

- (5) 「作られた」は was made で表す。受動態の疑問文は主語と be 動詞を逆にする。
- (6) 「書かれた」は was written で表す。write の過去分詞は written。
- (7) 「置かれた」は was put [placed]。put は過去形も過去分詞も同形。

## 4

- (1) The Olympic Games are held every four years.
- (2) The song is loved by many people around the world.
- (3) The athletic meet wasn't [was not] canceled in spite of the bad weather.
- (4) This TV is broken, but it can be repaired easily.
- (5) When was that tower on the hill built?

## 【解説】

- (1) 「開かれる」は are held で表す。hold の過去分詞形に注意。「〜年ごとに」は every ~ years。
- (2) 「愛されている」は is loved、「〜によって」は by 〜で表す。
- (3) 受動態の否定「〜されなかった」は be 動詞を否定の形にする。
- (4) 「〜されることが可能」は、〈can+be 動詞+過去分詞〉で表す。
- (5) 疑問詞疑問文の受動態は〈疑問詞+be 動詞+主語+過去分詞〜?〉で表す。「建てる」は build で過去分詞は built。

## 5

- (1) Mr. Kato is respected by many students.
- (2) German is spoken in Austria.
- (3) Doraemon is known to everyone.
- (4) Strawberries should be kept in the fridge.
- (5) This report must be finished by tomorrow morning.
- (6) Where were these shelves made?
- (7) When must this medicine is taken?
- (8) The school rules should not be broken.
- (9) The walls of the house have not been painted yet.

## 【解説】

- (1) 「尊敬されている」は is respected、「〜によって」は by 〜で表す。

- (2) 「話されている」は is spoken で表す。
- (3) 「〜に知られている」は is known to 〜で表す。
- (4)(5) 助動詞と共に受動態が使われるときには、〈助動詞+be 動詞+過去分詞〉となる。
- (5) 「終えなければならない」は「終えられなければならない」と考える。
- (6) 疑問詞疑問文の受動態は、〈疑問詞+be 動詞+主語+過去分詞〜?〉の形。shelf「棚」の複数形は shelves。
- (7) 「薬を飲む」は take medicine。
- (8) 受動態の否定文は〈be 動詞+not+過去分詞〉。助動詞がある場合には〈助動詞+be 動詞+not+過去分詞〉。
- (9) yet があるので現在完了の否定文にすると考える。

# CONTENTS

注意

下線部には1語または2語以上の語句が入ります。  
並べかえ問題は、文頭に来る語も小文字になっています。

<b>Lesson 1</b> Let's Talk about Ourselves	
Part 1	4
現在形 (be 動詞)	6
Part 2	8
現在形 (一般動詞)	10
<b>Lesson 2</b> School Life	
Part 1	12
過去形 (be 動詞、一般動詞)	14
Part 2	16
現在進行形、過去進行形	18
<b>Lesson 3</b> The Arts	
Part 1	20
未来表現 (will, be going to ~など)	22
Part 2	24
基本時制 (現在形、過去形、未来表現) のまとめ	26
<b>Lesson 4</b> Food and Culture	
Part 1	28
現在完了形① (完了/経験)	30
Part 2	32
現在完了形② (継続)、現在完了進行形	34
<b>Lesson 5</b> Welcome to Our Town	
Part 1	36
助動詞	38
Part 2	40
受動態	42
<b>Lesson 6</b> Traveling Abroad	
Part 1	44
不定詞① (名詞的用法、形容詞的用法)	46
Part 2	48
不定詞② (副詞的用法など)	50
<b>Lesson 7</b> Sports	
Part 1	52
動名詞	54
Part 2	56
分詞による後置修飾、分詞構文	58
<b>Lesson 8</b> Everyday Technology	
Part 1	60
比較① (比較級)	62
Part 2	64
比較② (最上級、同等比較)	66
<b>Lesson 9</b> Take Care	
Part 1	68
関係代名詞 who, which, that (主格・目的格)	70
Part 2	72
関係代名詞② (目的格の省略、whose、what)	74
<b>Lesson 10</b> SDGs — Take Action!	
Part 1	76
関係副詞	78
Part 2	80
仮定法	82



## 1 Questions

1 教科書 (p.64) の絵を見ながら、次の質問に答えてみよう。

Q1 Where's Mai?

— She's in \_\_\_\_\_.

Q2 What do you see in the background?

— I see \_\_\_\_\_.

Q3 What's Mai doing?

— She's \_\_\_\_\_.

2 英語を聞いて、次の質問に答えてみよう。

Q4 What does Mai advise the traveler to do?

— She advises her to \_\_\_\_\_.

Q5 What destroyed Kotoku-in centuries ago?

— \_\_\_\_\_ did.



## 2 Useful Expressions

( ) に適切な語を入れて、言ってみよう。

1) お困りですか。

( ) ( ) help you?

2) この近くに、大きな仏像があると聞いたのですが。

I ( ) there's a big statue of Buddha ( ) here.

3) どこにあるのでしょうか。

( ) ( ) ( ) find it?

4) 前方にまっすぐ行ってください。

Go ( ) ( ).

5) それは屋外にありますから、見逃すことはないですよ。

It's outside, ( ) you ( ) miss it.

6) その歴史についてもっと教えてくださいませんか。

( ) ( ) ( ) tell me more ( ) the history?

## 3 Word Bank 道案内

次の日本語に合う英語を □ から選び、記号を ( ) に書き込もう。

① 左折する ( ) ② 右折する ( ) ③ 角で ( ) ④ 信号機で ( )

⑤ 左側に ( ) ⑥ 右側に ( ) ⑦ 2ブロック歩く ( ) ⑧ 川の向こう側に ( )

- Ⓐ turn left   Ⓑ walk for two blocks   Ⓒ at the traffic light   Ⓓ on your left  
Ⓔ turn right   Ⓕ at the corner   Ⓖ across the river   Ⓗ on your right

## 4 Let's Talk

ペアになり、道案内の会話をしよう

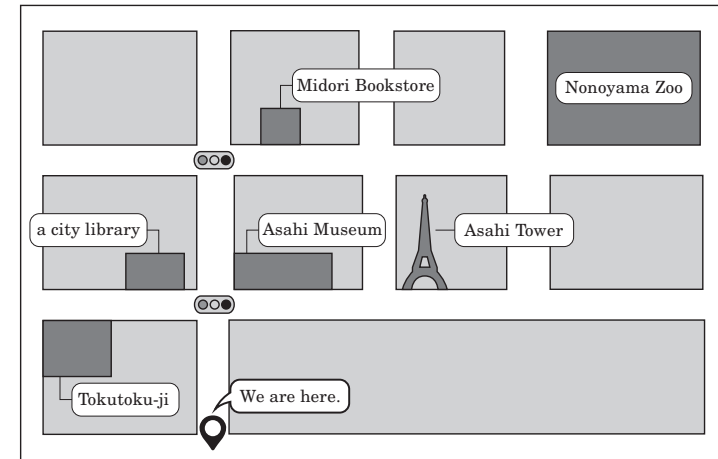
例 A: May I help you?

B: Yes, please. I heard <sup>①</sup>the Great Buddha of Kotoku-in is near here. How can I find it?

A: Oh, <sup>②</sup>the Great Buddha of Kotoku-in? <sup>③</sup>Go straight ahead.

B: Thank you.

TRY 次の地図を見ながら、例の下線部を自分たちの話したいことに置きかえて、会話をしてみよう。



A: May I help you?

B: Yes, please. I heard <sup>①</sup>\_\_\_\_\_ is near here.

How can I find it?

A: Oh, <sup>②</sup>\_\_\_\_\_ ? <sup>③</sup>\_\_\_\_\_.

B: Thank you.

## Lesson 5 Part 1

## Lesson 5 Part 1

## 助動詞

Grammar for Speaking and Writing (教科書 pp.68-69)

## Examples

1. I **can** help you with that. [can - 可能]  
(私はそのことで手助けができます。)
2. You **may** leave now. [may - 許可]  
(もう行っていいですよ。)
3. It **may** rain this afternoon. [may - 推量]  
(きょうの午後は雨が降るかもしれません。)
4. We **must** [have to] stop at a red light. [must - 義務、指示]  
(赤信号では止まらなければなりません。)
5. He **must** be tired after school. [must - 推量]  
(彼は放課後は疲れているにちがいません。)
6. You **should** say sorry to her. [should - 助言、指示]  
(あなたは彼女に謝るべきです。)

【解説】助動詞は動詞の前に置いて、さまざまな意味を付け加えます。助動詞のあとには、主語の人称に関係なく〈助動詞+動詞の原形〉の形になります。また、同じ助動詞が複数の意味を持つ場合もありますから、一つひとつ押さえていきましょう。

## 練習問題

1 ( )内から適切な語を選び、英文を完成させてみよう。

- (1) 今あなたの自転車を使ってもいいですか。  
( Can / Must ) I use your bicycle now?
- (2) とても寒い。今夜は雪が降るかもしれない。  
It is very cold. It ( may / must ) snow tonight.
- (3) ここに駐車してはいけません。  
You ( should / must ) not park here.
- (4) 式典では学校の制服を着たほうがよい。  
You ( can / should ) wear a school uniform at the ceremony.
- (5) ジェリーは数日前に日本を去った。今はパリにいるに違いない。  
Jerry left Japan a few days ago. He ( can / must ) be in Paris now.

2 [ ]内の語句を並べかえて、英文を完成させてみよう。

- (1) 試験の始まる5分前に着席していなければならない。  
You [ be seated / five minutes / must ] before the exam begins.

- (2) 市の図書館では誰でもインターネットが使える。  
In the city library, [ can / the internet / anybody / use ].

- (3) パーティーでは正装しなくてはならない。  
[ you / dress / to / have ] formally for the party.

- (4) 私たちは違う文化や伝統を尊重したほうがよい。  
We [ different / should / cultures / respect ] and traditions.

- (5) あなたは長時間歩いて疲れているに違いない。  
[ be / must / after / tired / you ] a long walk.

3 ( )内に適切な語を入れて、英文を完成させてみよう。

- (1) 弘子はハングルがよく読める。  
Hiroko ( ) ( ) Hangul well.
- (2) 君は他の人の意見を聞いたほうがよい。  
You ( ) ( ) to other people's opinions.
- (3) あの小さなイヌを見て。迷子のイヌかもしれない。  
Look at that little dog. It ( ) be a stray dog.
- (4) 「あなたのところに1週間ほど泊まってもいいですか。」「いいですよ。」  
“( ) I ( ) with you for about a week?” “Sure.”
- (5) 劇場に急がなくてはいけない。劇はもうすぐ始まる。  
We ( ) ( ) to the theater. The play will start soon.

4 \_\_\_\_\_に適切な語句を入れて、英文を完成させてみよう。

- (1) 「私たちは学校まで毎日歩いて行かなくてはいけないの?」「ええ、もちろん。」  
“\_\_\_\_\_ to school every day?” “Yes, of course.”
- (2) 部屋にスマートフォンを持ち込んでもよいが、電源を切らなくてはならない。  
You \_\_\_\_\_ your smartphone into the room, but you \_\_\_\_\_ it off.
- (3) 買い物に行く必要はない。食料は十分ある。  
We \_\_\_\_\_ shopping. We have enough food.
- (4) フライトを変更できません。もう遅すぎます。  
You \_\_\_\_\_ your flight. It's too late.
- (5) もし具合が悪いなら、医者に行ったほうがよい。  
If you feel ill, you \_\_\_\_\_ to the doctor.

## 1 Questions

1 教科書 (p.70) の絵を見ながら、次の質問に答えてみよう。

Q1 What's Ren doing?

— He's \_\_\_\_\_.

Q2 What's Ren's presentation about?

— It's \_\_\_\_\_.

Q3 How are the students feeling?

— They're \_\_\_\_\_.

2 英語を聞いて、次の質問に答えてみよう。

Q4 Where's Kesenuma located?

— It's \_\_\_\_\_.

Q5 What's *hoya* in English?

— It's \_\_\_\_\_.



## 2 Useful Expressions

( ) に適切な語を入れて、言ってみよう。

1) これは、気仙沼のマスコット、ホヤぼーやです。

This is Hoyaboya, the ( ) ( ) Kesenuma.

2) シーパイナップルは地域の特産物です。

Sea pineapple is a ( ) ( ).

3) それは日本語でホヤと呼ばれています。

It ( ) ( ) *hoya* ( ) Japanese.

4) そのため、このマスコットはホヤぼーやと呼ばれています!

( ) ( ) the mascot ( ) ( ) Hoyaboya!

5) 私たちは、ぜひとも彼を見つけて、あいさつをしなくてはなりません。

We ( ) find him and ( ) ( ).

6) 日本では多くの場所に、地域独自のマスコットがいます。

Many places ( ) Japan ( ) their own local mascots.

## 3 Word Bank 地域の特産品

次の日本語に合う英語を □ から選び、( ) に記号を書き入れよう。

- ① ピワ ( )    ② 牡蠣 ( )    ③ ジャガイモ ( )    ④ 抹茶 ( )  
 ⑤ お米 ( )    ⑥ クリ ( )    ⑦ サツマイモ ( )    ⑧ ダイコン ( )

- Ⓐ matcha green tea    Ⓑ loquat    Ⓒ rice    Ⓓ radish  
 Ⓔ oyster    Ⓕ chestnut    Ⓖ sweet potato    Ⓗ potato

## 4 Let's Speak

地域の特徴やマスコットキャラクターについて発表をしよう。

例. ① Many places in Japan have their own local mascots. ② This is Hoyaboya. ③ He is from Kesenuma. ④ Sea pineapple is a local specialty. ⑤ It is called hoya in Japanese. ⑥ That's why the mascot is called Hoyaboya! ⑦ We should find him and say hello.

1 下の表に自分が発表したいことを書き込もう。(⇒ Word Bank, 「表現語彙集」(教科書 p.159))

- ②⑥ キャラクター名 \_\_\_\_\_  
 ③ 地域名 \_\_\_\_\_  
 ④ 特産品名(英語) \_\_\_\_\_  
 ⑤ 特産品名(日本語) \_\_\_\_\_

2 1のメモをもとに、例にならって原稿を書き、実際に発表をしよう。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

TRY 友だちの発表を聞いたあと、下の例を参考にして関連する質問文を作ってみよう。

例 Q1: Have you ever seen the mascot?

Q2: What do you think of it?

Q3: \_\_\_\_\_

## Lesson 5 Part 2

## 受動態

Grammar for Speaking and Writing (教科書 pp.74-75)

## Examples

- French **is spoken** in about 30 countries. [肯定文 ー 現在]  
(フランス語は約30か国で話されています。)
- This picture **was painted by** a friend of mine. [肯定文 ー 過去]  
(この絵は私の友だちの一人によって描かれました。)
- This program **is not watched by** many people. [否定文]  
(この番組は多くの人に見られていません。)
- Is the car made in Japan?** [疑問文]  
(その車は日本で製造されたのですか。)
- When was the church built?** — In 1880. [疑問詞疑問文]  
(その教会はいつ建てられたのですか。 — 1880年です。)
- The room **must be cleaned** every day. [助動詞を使う場合]  
(部屋は毎日きれいにしなければいけません。)

【解説】「Aが(Bによって)～される」という言い方を受動態(受け身)と言い、〈主語(A)+be動詞+過去分詞(+by行為者(B))〉で表されます。ふつうの文(能動態)と主語をかえることで、同じ内容について言っている、何が主役になるかがかわります。

## 練習問題

- ( )内に適切な語を入れて、英文を完成させてみよう。[ ]内の語を適切な形にして使うこと。
  - 町は嵐に見舞われた。  
The town ( ) ( ) by a storm. [ hit ]
  - これらのコンピューターは障害のある人たちのために作られたのですか。  
( ) these computers ( ) for disabled people? [ make ]
  - その古代の墓の下から何が発見されましたか。  
What ( ) ( ) under the ancient tomb? [ discover ]
  - ペットボトルは多くの国でリサイクルされている。  
Plastic bottles ( ) ( ) in many countries. [ recycle ]
  - 台風のため列車は遅れるだろう。  
The train will ( ) ( ) because of the typhoon. [ delay ]

- [ ]内の語句を並べかえて、英文を完成させてみよう。
  - いつ君の新しい自転車が盗まれたの?  
[ was / when / stolen / your new bicycle ]?
  - ゴッホは浮世絵から大いに影響を受けた。  
Van Gogh [ by / influenced / Ukiyoe prints / was ] greatly.
  - そのコンサートのチケットは1日で完売した。  
Tickets for [ were / in / the concert / sold out ] one day.
  - このテレビは壊れているが、簡単に修理できる。  
This TV is broken, but [ can / repaired / be / it ] easily.
  - 私は沖縄で生まれ育った。  
I [ and / brought up / born / was ] in Okinawa.

- ( )内に適切な語を入れて、英文を完成させてみよう。
  - その宿題は今度の月曜日までに終えなければならない。  
The homework ( ) ( ) ( ) by next Monday.
  - コンサートはどこで開かれたのですか。  
( ) ( ) the concert ( )?
  - ボランティアによって砂漠に何千本もの木が植えられた。  
Thousands of trees ( ) ( ) in the desert ( )  
volunteers.
  - その橋は半年では建設されないだろう。  
The bridge ( ) ( ) ( ) in half a year.
  - その雑誌は若者の間で広く読まれている。  
The magazine ( ) widely ( ) among young people.

- \_\_\_\_\_に適切な語句を入れて、英文を完成させてみよう。
  - オリンピックは4年ごとに開かれる。  
The Olympic Games \_\_\_\_\_ every four years.
  - この歌は世界中の多くの人々に愛されている。  
The song \_\_\_\_\_ many people around the world.
  - 悪天候にもかかわらず、体育祭は中止されなかった。 \*「～を中止する」cancel  
The athletic meet \_\_\_\_\_ in spite of the bad weather.
  - あなたの部屋から海は見られますか。  
\_\_\_\_\_ the ocean \_\_\_\_\_ from your room?
  - この機械はそのような目的で使用してはならない。  
This machine \_\_\_\_\_ for such a purpose.

## Lesson 5 Part 1

(pp.38-39)

## 1 Questions [解答例]

- 1 Q1 She's in Kamakura.  
 Q2 I see some gift shops.  
 Q3 She's talking with travelers.

- 2 Q4 She advises her to go straight ahead.  
 Q5 A natural disaster did.

## 2 Useful Expressions

- 1) (May) (I) help you?  
 2) I (heard) there's a big statue of Buddha (near) here.  
 3) (How) (can) (I) find it?  
 4) Go (straight) (ahead).  
 5) It's outside, (so) you (can't) miss it.  
 6) (Can) (you) (please) tell me more (about) the history?

【解説】 1) 援助などを申し出るときの表現の May I ~? 「私は～してもいいですか」を使って、May I help you? 「どうかなさいましたか」。お店などで「何にいたしましょうか」や「いらっしゃいませ」の意味でも使う慣用表現。2) 「～を聞く」は、hear。〈hear - heard - heard〉と活用する。3) 「私はそれをどのようにして見つけることができるか」。「どのようにして」は how。4) 「前方に」は、副詞で ahead。5) 理由を表す接続詞 so を使って、「それで」「そういうわけで」。can の否定は、話し言葉では can't。書き言葉では cannot が使われることが多い。6) 相手に何かを依頼するときの表現で、「(どうか)～してくださいませんか」は、Can you (please) ~?。

## 3 Word Bank

- ① A turn left      ② E turn right  
 ③ F at the corner      ④ C at the traffic light  
 ⑤ D on your left      ⑥ H on your right  
 ⑦ B walk for two blocks  
 ⑧ G across the river

【解説】 その他の表現として、「A と B の間に」 between A and B、「A の近くに」 near A、「通りを横切って」 across the street、「2 番目の交

差点で」 at the second intersection などがある。

## 4 Let's Talk

## TRY

[解答例 1]

- A: May I help you?  
 B: Yes, please. I heard <sup>①</sup>Asahi Museum is near here. How can I find it?  
 A: Oh, <sup>②</sup>Asahi Museum? <sup>③</sup>Go straight and you can find it at the next traffic light.

B: Thank you.

[解答例 2]

- A: May I help you?  
 B: Yes, please. I heard <sup>④</sup>Midori Bookstore is near here. How can I find it?  
 A: Oh, <sup>⑤</sup>Midori Bookstore? <sup>⑥</sup>Go straight and turn right at the second corner. Then, you can find it on the left.

B: Thank you.

[解答例 3]

- A: May I help you?  
 B: Yes, please. I heard <sup>⑦</sup>a city library is near here. How can I find it?  
 A: Oh, <sup>⑧</sup>a city library? <sup>⑨</sup>Go straight and turn left at the next corner. Then, you can find it on the right.

B: Thank you.

Grammar for Speaking and Writing (pp.40-41)

## 1

- (1) (Can) I use your bicycle now?  
 (2) It is very cold. It (may) snow tonight.  
 (3) You (must) not park here.  
 (4) You (should) wear a school uniform at the ceremony.  
 (5) Jerry left Japan a few days ago. He (must) be in Paris now.

【解説】 (1) Can I ~? は「～してもいいですか」と相手に許可を求める言い方。(2) may は「～かもしれない」という推量を表す。可能性が半々くらいのときに使う。(3) must not は「～してはい

けない」という意味を表す。(4) should は「～したほうがよい、～すべきだ」という意味を表す。(5) この must は「～に違いない」という意味を表す。

## 2

- (1) You [must be seated five minutes] before the exam begins.  
 (2) In the city library, [anybody can use the internet].  
 (3) [You have to dress] formally for the party.  
 (4) We [should respect different cultures] and traditions.  
 (5) [You must be tired after] a long walk.

【解説】 (1) ここでの動詞句は be seated なので、must はその前に置く。be seated は「着席する」。ex. Please be seated. (どうぞご着席ください。)  
 (2) 「～できる」という意味の can を use the internet 「インターネットを使う」という動詞句の前に置く。  
 (3) 「(状況から)～しなければならない」という意味の have to ~ を dress 「～を着る」という動詞の前に置く。  
 (4) 「～したほうがよい」という意味の should を respect 「～を尊重する」という動詞の前に置く。  
 (5) 「～に違いない」という意味の must を be tired 「疲れている」という動詞句の前に置く。

## 3

- (1) Hiroko (can) (read) Hangul well.  
 (2) You (should) (listen) to other people's opinions.  
 (3) Look at that little dog. It (may [might]) be a stray dog.  
 (4) "(May [Can]) I (stay) with you for about a week?" "Sure."  
 (5) We (must) (hurry) to the theater. The play will start soon.

【解説】 (1) 「～できる」は can で表す。(2) 「～したほうがよい、～すべきだ」は should で表す。listen to ~ は「～に耳を傾ける」。hear ~ は「(単に)～が聞こえる」というニュアンス。(3) 「～かもしれない」は may [might] で表す。(4) May [Can]

I ~? は「～してもよいですか」と相手に許可を求める言い方。なお、Might [Could] I ~? という言い方もあるが、より丁寧で控えめな表現。〈stay with + 人〉で「～(人)の家に泊まる」。(5) 「～しなければならない」は must で表現する。「～へ急ぐ」は hurry to ~。

## 4

- (1) "Must we walk to school every day?" "Yes, of course."  
 (2) You may [can] take your smartphone into the room, but you must turn it off.  
 (3) We don't have to go shopping. We have enough food.  
 (4) You cannot [can't] change your flight. It's too late.  
 (5) If you feel ill, you should go to the doctor.

【解説】 (1) 助動詞を含む疑問文は〈助動詞 + 主語 + 動詞〉の語順になる。Do we have to walk to ~? も可。(2) You may ~ も You can ~ も「～してもよい」という許可の意味を表すが、You may ~ は目下に許可を与える感じになる。can を使ったほうがやわらかい言い方。(3) 「～する必要がない」は don't have to。(4) 助動詞を含む文の否定文は、助動詞のあとに not を置く。(5) 「～したほうがよい」は should。

## Lesson 5 Part 2

(pp.42-43)

## 1 Questions [解答例]

- 1 Q1 He's making a presentation.  
 Q2 It's about a mascot.  
 Q3 They're feeling happy.

- 2 Q4 It's located on the coast of Miyagi Prefecture.  
 Q5 It's sea pineapple.

## 2 Useful Expressions

- 1) This is Hoyaboya, the (mascot) (of) Kesenuma.
- 2) Sea pineapple is a (local) (specialty).
- 3) It (is) (called) *hoya* (in) Japanese.
- 4) (That's) (why) the mascot (is) (called) Hoyaboya!
- 5) We (should) find him and (say) (hello).
- 6) Many places (in) Japan (have) their own local mascots.

【解説】 1) コンマを使って、別の言い方で言い換える。2) sea pineapple は「ホヤ」。3) 「呼ぶ」は call。「日本語で」は、手段を表す前置詞 in を使う。4) That's why ~。「それが~という理由です」。why のあとには〈S+V〉の節がくる。5) 「~したほうがよい、~すべきです」は should。6) 「(構成要素として物や人)がある、いる」は have。

## 3 Word Bank

- ① B loquat                    ② E oyster  
 ③ H potato                    ④ A matcha green tea  
 ⑤ C rice                        ⑥ F chestnut  
 ⑦ G sweet potato            ⑧ D radish

## 4 Let's Speak

2  
 【解答例 1】

Many places in Japan have their own local mascots. This is Oraimokun. He is from Assabu. Potato is a local specialty. It is called jagaimo in Japanese. That's why

the mascot is called Oraimokun! We should find him and say hello.

【解答例 2】

Many places in Japan have their own local mascots. This is Macha. She is from Nishio. Matcha green tea is a local specialty. It is called maccha in Japanese. That's why the mascot is called Macha! We should find her and say hello.

【解答例 3】

Many places in Japan have their own local mascots. This is Kometsugukun. He is from Minamiuonuma. Rice is a local specialty. It is called okome in Japanese. That's why the mascot is called Kometsugukun! We should find him and say hello.

## TRY

【質問例】

Q3: What's your favorite mascot in Japan?

Grammar for Speaking and Writing (pp.44-45)

## 1

- (1) The town (was) (hit) by a storm.
- (2) (Were) these computers (made) for disabled people?
- (3) What (was) (discovered) under the ancient tomb?
- (4) Plastic bottles (are) (recycled) in many countries.
- (5) The train will (be) (delayed) because of the typhoon.

【解説】 (1) hit の過去分詞は hit であることに注意。by で「~によって」の意味を表す。(2) 受動態の Yes/No 疑問文。be 動詞と主語の順序を逆にする。(3) 疑問詞を使った受動態の疑問文。語順に注意。(4) by のない受動態の文。e で終わる動詞の過去分詞形に注意。ペットボトルは、英語では plastic bottle と呼ばれることが多い。(5) 助動詞 will を伴う受動態。be 動詞は、助動詞のあとなので原形。

## 2

- (1) [When was your new bicycle stolen]?
- (2) Van Gogh [was influenced by Ukiyoe prints] greatly.
- (3) Tickets for [the concert were sold out in] one day.
- (4) This TV is broken, but [it can be repaired] easily.
- (5) I [was born and brought up] in Okinawa.

【解説】 (1) 〈疑問詞+be 動詞+主語+過去分詞~?〉の語順。steal の過去分詞形に注意。(2) by のつく受動態。(3) 主語は Tickets for the concert。sell の過去分詞形に注意。(4) 「修理できる」→「修理されることが可能」は、〈助動詞 can+be 動詞+過去分詞〉で表現する。(5) 一つの be 動詞に対して過去分詞が二つ用いられた受動態の文。be brought up で「育つ」の意味。

## 3

- (1) The homework (must) (be) (finished) by next Monday.
- (2) (Where) (was) the concert (held)?
- (3) Thousands of trees (were) (planted) in the desert (by) volunteers.
- (4) The bridge (won't) (be) (built) in half a year.
- (5) The magazine (is) widely (read) among young people.

【解説】 (1) 「~されなければならない」は〈must+be 動詞+過去分詞〉を用いる。(2) 〈疑問詞+be 動詞+主語〉の語順。「~を開催する」は hold。過去分詞形に注意。(3) 主語が複数形であることに注意。(4) 「~されないだろう」は〈will+be 動詞+過去分詞〉の否定の形〈won't [will not]+be 動詞+過去分詞〉で表す。in half a year は「半年以内に」。(5) 過去分詞 read の発音に注意。

## 4

- (1) The Olympic Games are held every four years.
- (2) The song is loved by many people around the world.
- (3) The athletic meet was not [wasn't]

canceled in spite of the bad weather.

- (4) Can the ocean be seen from your room?
- (5) This machine must not be used for such a purpose.

【解説】 (1) hold の過去分詞形に注意。(2) 「~によって」は by ~ で表す。(3) 受動態の否定は be 動詞を否定の形にする。in spite of ~ は「~にもかかわらず」の意味。(4) 助動詞を伴う受動態の疑問文。助動詞が前に出て、そのあとに〈主語+be 動詞+過去分詞〉が続く。(5) 助動詞を伴う受動態の文。「~してはならない」は must not ~。